

「霊の戦いに備えて」

寝屋川キリスト教会 主日礼拝
2024年04月14日(日)
エペソ 6章10節～17節

パウロはエペソ4章以降に「教会生活の基本」「個人生活の基本」「家庭生活の基本」「社会人生活の基本」「霊的戦いの基本」について取り上げています。私たちの信仰が健全で調和のとれたものとして全世界にあかしされることを示しています。今日の説教はその「霊的戦いの基本」の個所になります。

霊の戦いは実在するか

ところで霊的戦いは実在するのでしょうか。私たちの日常生活にどのように関わっているのでしょうか。

エペソ 6:10-12 にご注目ください。パウロは暗やみの世界の支配者である悪魔とそれに属するもろもろの悪霊たちがこの世界を自分たちのものと考えて、人々が自分たちに絶対的に服従するように精神的策略をめぐらせていると語っています。ここでパウロは「暗やみの世界の支配者」と呼んでいますが、実際にはどんなかたちで私たちは彼らの支配を受けているのか、次の事例から検証してみましょう。

Ⅱコリント 4:4 をご注目ください。パウロは人々が創造主なる真の神に近づこうとしない本当の理由として「この世の神が、信じない者たちの思いを暗くし、神のかたちであるキリストの栄光に関わる福音の光を、輝かせないようにしている」と言っています。

1954年に「いのちのことば社」から創刊された「百万人の福音」は70年を経過した現在も「百万人」のままです。2019年の東京基督教大学の宗教調査によるとプロテスタントの信者数55万人、カトリックの信者数44万、対人口比0.8%という結果が報告されています。日本社会のこの状態をみて教会が異常だと思わず、これは仕方がないことだと思い込んでないでしょうか。だとすれば自分たちが支配されていることを相手に気づかせない、非常に巧みな悪魔の策略を侮ってはなりません。

そういうわけで、私たちはこの日本という国に遣わされたキリストの弟子として、改めて聖書から「霊の戦いの基本」について知る必要があります。

霊の戦いの基本となる三つの要素

私たちは聖書から、悪魔に対する霊の戦いを有利に進めるための「三要素」である、**戦略・戦術・戦力**について知る必要があります。

1 霊の戦いの「戦略」はキリストの大能の力

戦略とは、これさえあれば絶対に負けない最強の力をあらわします。パウロは**エペソ 6:10** で「主にあって、その大能に力によって強められなさい」と命じていますが、別の言い方をすると「悪魔の勢力を阻止するためにキリストの権威によって完全に武装し、与えられたキリストの偉大な力を奮い立たせ、霊の戦いを効果的に進めなさい」という意味です。**マタイ 12:29** にご注目ください。キリストが共におられるならこの戦いは必ず勝利します。**Ⅰペテロ 5:6** にご注目ください。キリストの力強い御手の下にへりくだるなら、この戦いはすでにキリストの勝利が決まった戦いであることを確信させられます。この戦いの戦略はキリストなのです。

2 霊の戦いの戦術は聖書の知識

次に戦術とは、武具をただそばに置いておくだけではなく、その使い方が身に着いていなければなりません。パウロは**エペソ 6:13-17** で、「神の武具」を身に着けなさい（アナランバノー）と言っています。それは「手に取る」という意味で、「実際に使用する」ことをあらわします。その他の「真理の帯」「正義の胸当て」「平和の福音」「信仰の盾」「救いのかぶと」などの「聖書の教理」を自分の身を守る武具として、実戦の場でいつでも使える状態にしていなさいということです。

ユダヤ人はモーセの時代から現在まで約四千年の間、様々な迫害や幾多の危機的な状況を経験しましたが、それらを乗り越えて今なお生きてきたのは、彼らの家庭や会堂で親から子へと受け継がれてきた「教育の遺産」があったからです。ユダヤ人はまさに「教育」の民であり、「教育」がなければとくに滅びていたかもしれません。聖書の教理を身に着けることが、霊の戦いにおいて自分の身を守る強力な武具となり、決して負けない確信と自信につながります。

3 霊の戦いの戦力は教会の祈り

三つ目の戦力とは、相手に大打撃を与える強力な武器のことです。パウロは**エペソ 6:19-20**で「語るべきことを大胆に語れるように」祈って欲しいと教会に訴えています。もちろん彼は自分でも祈ったでしょう。優れた知識と豊かな経験に満たされていました。それでも福音のことは相手の心と魂に効果的に届くためには教会の祈りが必要でした。教会の祈りは、みことばの弾丸を打ち出す強力なエネルギーとなるのです。

使徒 4:31 をご注目ください。教会が祈るとき「一同は聖霊に満たされ、みことばを大胆に語りだした」と書かれています。「大胆」パレーシアスとは、「制限がない」という意味で、「恐れなく確信をもって」福音をあかしすることをあらわします。教会の祈りがいかに強力な戦力となるかを強く印象づけています。

ですから、私たちは現状に甘んじたり諦めたりしないで、目を覚まして祈り続けましょう。基本を無視した無謀・無策な戦い方をしないように注意しましょう。キリストの大能の力に満たされ、みことばによって整えられ、ともに祈りつつ、時代の荒波のなかを力強く進んでいきましょう。

【 本日の引用聖句集 】

エペソ 6:10-12 (新改訳 2017)

10 終わりに言います。主にあって、その大能の力によって強められなさい。

11 悪魔の策略に対して堅く立つことができるように、神のすべての武具を身に着けなさい。

12 私たちの格闘は血肉に対するものではなく、支配、力、この暗闇の世界の支配者たち、また天上にいるもろもろの悪霊に対するものです。

Ⅱコリント 4:4 (新改訳 2017)

彼らの場合は、この世の神が、信じない者たちの思いを暗くし、神のかたちであるキリストの栄光に関わる福音の光を、輝かせないようにしているのです。

マタイ 12:28 (新改訳 2017)

しかし、わたしが神の御霊によって悪霊どもを追い出しているのなら、もう神の国はあなたがたのところに来ているのです。

Ⅰペテロ 5:6 (新改訳 2017)

ですから、あなたがたは神の力強い御手の下にへりくだりなさい。神は、ちょうど良い時に、あなたがたを高く上げてくださいます。

エペソ 6:13-17 (新改訳 2017)

13 ですから、邪悪な日に際して対抗できるように、また、一切を成し遂げて堅く立つことができるように、神のすべての武具を取りなさい。

14 そして、堅く立ちなさい。腰には真理の帯を締め、胸には正義の胸当てを着け、

15 足には平和の福音の備えをはきなさい。

16 これらすべての上に、信仰の盾を取りなさい。それによって、悪い者が放つ火矢をすべて消すことができます。

17 救いのかぶとをかぶり、御霊の剣、すなわち神のことばを取りなさい。

エペソ 6:19-20 (新改訳 2017)

19 また、私のためにも、私が口を開くときに語るべきことばが与えられて、福音の奥義を大胆に知らせることができるように、祈ってください。

20 私はこの福音のために、鎖につながれながらも使節の務めを果たしています。宣べ伝える際、語るべきことを大胆に語れるように、祈ってください。

使徒 4:31 (新改訳 2017)

31 彼らが祈り終わると、集まっていた場所が 揺れ動き、一同は聖霊に満たされ、神のことばを大胆に語り出した。

【今週の聖句】

エペソ 6:10 (新改訳 2017)

終わりに言います。主にあって、その大能の力によって強められなさい。